

令和元年度「北九州港セミナーin 東京」の開催について

北九州市・北九州港航路集貨対策委員会は、東京の経団連会館にて、「令和元年度北九州港セミナーin 東京」を開催しました。本セミナーは、在京の荷主や船社、物流事業者等を対象に、官民一体となって北九州港のPRと利用促進を図るため、昭和63年より開催しており、今回で31回目を迎えました。

第1部では、北九州港をご利用者いただいている日産自動車九州株式会社の荒井代表取締役社長を講師に迎え、「日産自動車九州株式会社の取り組みについて」と題し、物流効率化対策の紹介や北九州港の活用状況についてご講演をいただきました。次に、今永副市長からSDGs未来都市に選定され日本一暮らしやすい街を目指す本市の施策展開や風力発電関連産業の総合拠点化等を図る「グリーンエネルギーポートひびき」事業など、近年の市政動向を紹介した後、木本港湾空港局長から北九州港と北九州空港の最新の状況についてプレゼンテーションを行いました。

また、第2部ビジネス交流会においても多数の参加者が情報交換等を行い、盛況のうちに閉会することができました。

これからも、北九州港をより多くの方に知っていただき、更なる利用促進に繋げてまいります。

【主催】 北九州市、北九州港航路集貨対策委員会

【共催】 北九州港振興協会、関門港運協会、小倉地区港運協会、洞海港運協会、八幡港友会、北九州商工会議所、北九州空港国際航空貨物推進協議会

【日時】 令和元年10月31日（木）16時30分から19時

【会場】 経団連会館（東京都千代田区大手町1丁目3-2）

【参加者】 231団体・約580名

※セミナーの様子



① 木本港湾空港局長 開会の挨拶



② 日産自動車九州(株) 荒井氏プレゼン



③ 今永副市長プレゼン



④ 木本港湾空港局長プレゼン



⑤ 第1部の様子



⑥ 第2部の様子